



大蔵地区のアイドル！林田職人

神戸学院大学 人文学部 人文学科 1 回生
TTM48 上田修也 西村俊亮 福村亜津紗

林田桂司さんの人物像

林田桂司さんは細かい作業が好きなので、畳職人になる前、美容師の道に進みたかったのですが、結局親が畳店を経営していたということもあり、畳職人になりました。パワフルな林田桂司さんは、現在畳を作りながら、地元の人たちと地域活動に参加しています。跡継ぎに関しては本人の意思に任せています。



林田桂司さんのこだわりとは・・・

先代から愛用されている包丁を研ぎ、100年近く使用しています。この包丁は大阪の堺で作られたものだそうです。また、畳を作るときに使われている、ながさし、はばさし、というものさしは、約50年使われています。

畳を作る時の畳台は120年もの長い間愛用されています。

熊本のい草農家から、い草を仕入れています。い草農家は年々減少していますが、厳選されたい草を仕入れています。また、現在機械での作業が主流となっていますが、林田さんは機械を使いつつ、手作業での畳づくりをこだわりとしています。



文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

2012年度地域研究プロジェクト